

コンクリート関係 耐久性・環境試験装置

A法凍結融解試験装置



コンクリートの凍害耐久性を調べる(A法:水中凍結水中融解試験)装置です。事前に組んだプログラムで凍結・融解を繰り返し、コンクリートの劣化・破壊を促進させます。試験・操作・状況をタッチパネルから簡単に行い、データ収集を行います。

※準拠規格:JIS A 1148

特長

- ✓ タッチパネルですべての運転が可能
- ✓ 記録計もチノー製品のため選択可能(解析ソフト)
- ✓ チノーメーカー製品(調節計、記録計、センサ等)を使用しトレサビリティなど様々な対応が可能です。

ブライン温度範囲	-25℃~+20℃
供試体中心温度	-16℃~+3℃±2℃

中性化試験装置

槽内の温度・湿度・CO₂濃度を一定に保ちアルカリ性であるコンクリート供試体の中性化を促進させる装置です。

※準拠規格:JIS A 1153

特長

- ✓ 温度範囲も0~100℃まで広範囲の温度に対応
- ✓ 独自の上下対流構造で、槽内のどの位置でも安定した温湿度・CO₂濃度分布を実現
- ✓ チノーメーカー製品(調節計、記録計、センサ等)を使用しトレサビリティなど様々な対応が可能です。

槽内温度	0~40℃±0.5℃ / 40~100℃±2℃
槽内湿度	40~98%rh ±3%rh (20~40℃) 40~98%rh ±5%rh (40℃~)
CO ₂ 濃度	0~20% ±0.3% (0~60℃)



前面扉を開いた状態

コンクリート関係 耐久性・環境試験装置

コンクリート断熱温度上昇試験装置



前面扉を開いた状態

本装置は、セメントが凝縮・硬化する際に発生する水和熱を測定する装置で、試料であるコンクリート温度と周囲温度を同一に制御し断熱状態を作りだし水和熱によるコンクリート温度上昇を測定します。

特長

- ✓ 恒温槽の制御に専用アルゴリズムの目標値自動追従制御を使用して断熱制度の精度向上を図っています。
- ✓ 専用ソフトを使用してデータ取得が容易にできます。
- ✓ チノーメーカー製品(調節計、記録計、センサ等)を使用しトレサビリティなど様々な対応が可能です。

試料容量	50ℓ
発熱範囲	RT(5℃)～90℃
試料温度測定	Pt100Ω